

2021年1月27日

2020年度聖路加国際大学大学院
看護学研究科 課題研究

地域の消防団の活動に関する文献レビュー
～消防団員の活動に対する想いに焦点を当てて～

How Local Firefighters View Their Work: A Literature Review

19MN004

石川 友理恵

論文要旨

【目的】

本研究は、地域の消防団の活動内容について整理し、消防団員の活動に対する想いについて記述することを目的とした文献レビューである。

【方法】

CiNii を用いて、「消防団」をキーワードとして文献を検索し、条件に合致した 30 件を分析対象とした。各文献を精読した上で、「消防団の活動内容」を整理した。「消防団の活動内容」については、災害発生時の活動と平常時の活動に分類したうえで、活動内容全体が概観できるようにまとめ、災害発生時の活動については、災害サイクルに基づいて整理した。「消防団員の活動に対する想い」に関しては、記述内容を抽出してコード化し、質的に分析を行った。

【結果】

文献中に記述された災害発生時の活動内容は、【住民への注意喚起】、【被害状況の把握・安否確認】、【応急救護活動】、【消火活動】、【救助・捜索活動】、【警戒区域の見回り活動】、【避難所運営】などであった。また、平常時の活動内容は、【消防団員の知識・能力の向上を目的とした活動】、【地域住民の防災意識の向上を目的とした活動】、【地域とのつながりを作り、安全を守る活動】、【高齢者の見守り活動】などが挙げられた。

また、消防団員の活動に対する想いは、【地域を守る使命感を持って活動している】、【活動に対するプライドを持っている】、【消防団員としての経験に対する充実感がある】、【消防団に受け継がれてきた思いを次世代につなげたい】、【消防団活動によって住民同士のつながりが生まれる】、【消防団活動について地域の人に理解してほしい】、【女性が消防団員として活動することに対する困難感がある】、【女性であっても消防団員として認められたい】、【ボランティア要素の強い活動に対する負担感がある】、【災害現場における活動に自信が持てない】、【訓練を特に大切に思う】、【資機材が不十分なことによる負担がある】から構成された。特に【地域を守る使命感】や【消防団活動によって住民同士のつながりが生まれる】の категорияに多くのコードが分類された。

【結論】

【地域を守る使命感を持って活動している】ことは多くの団員に共通する、基盤となる想いであると考えられ、多くの消防団員は、【消防団活動によって住民同士のつながりが生まれる】と考えているといえる。また、地域を守る使命感やプライドを持って活動していることは、住民の命や生活を直接的に支えている消防団の特有の想いであると考えられる。さらに、消防団は、地域において多様な活動を行い、防災の中核を担う地域密着性の高い組織であることが明らかになった。保健師としては、消防団との平常時からの協働の可能性を模索し、地域全体の共助力・防災力を高めることが求められる。